# 南風たより

~みなみかぜ たより~

# 【お知らせとお詫び】田中医師休診のお知らせ

当院内科 田中雅之医師が都合により4月一杯 (予定) お休みを頂く事になりました。担当 患者様は、他の医師による診察となります。また、医師数の減少により、他の医師の担当患 者様にも待ち時間が発生する事が予想されます。

皆様には、大変ご迷惑をおかけ致します事を心からお詫び申し上げます。何卒ご了承下さい。

先日発行した"南風たより"に、ランチチェックのご案内をしていましたが、今回、日程を延期し、田中医師復帰後、改めてご案内を差し上げたいと考えています。お申し込み頂いて

## ○クリスマス会開催!

- 平成25年12月25日(水)昼食の時間を利用して、1病棟食堂で患者さんとスタッフによるクリスマス会を開催しました。入院生活は単調で退屈なものです。一日一日の時間の流れがゆっくりになります。そんな入院患者さんやご家族の療養生活が少しでも、彩りを持てたらと企画いたしました。
- 食堂はクリスマスリースやモールなどで飾り付けを行い、食事は入院患者様皆様の体調に合わせたクリスマスメニューを栄養課が準備いたしました。病棟看護師の声掛けなどにより車椅子でしか移動できない方も含め



て 12 名の患者様と付き添いの方にご参加頂きました。まず、クリスマスソングを流しながらの昼食です。材料や食事の形態に制限があるなか、栄養士が考えたメニューでした。

催しとして、まず職員によるクリスマスソングの合唱です。歌詞カードを皆さんにもお渡しし、ジングルベルときよしこの夜を唱いました。次に総師長による全員参加のゲーム。簡単なジェスチャーなのですが、なかなかうまくいかないものです。その後、ささやかですが、病院からのクリスマスプレゼントを参加者にお渡ししました。最後は、希望者のみですが、お好きな

香りを選んでもらって台ンボマッサージを行いました。アロマテラピー

# 診療報酬改定について

の資格を持つ看

年平成26年は2年に1回の診療報酬改定の年になります。 初診料、再診料などに変更があるため、診療内容が同じで も、4月からは、患者様の窓口負担額が変わってくる可能性 があります。何卒ご了承下さい。ご不明の点がありました ら、受付窓口までお尋ね下さい。

#### ○ 休診案内

(変更になる場合もあります。詳細は受付ま でお問い合わせ下さい。)

田隆光医師(内科)4月9日(水)

八尋陽平医師(外科)4月14日(月)

吉田 朗医師(放射線科)4月18日

### 〇皮膚科のお話

(今回ちょっと怖いお話ですが・・・)

新聞等で、人食いバクテリアという言葉を目にされ た事はないでしょうか?三つの細菌が関与する疾患 がありますが、その中でも Vibrio vulnificus という細 菌によるものについて、今回は、お話します。 Vibrio vulnificus 感染症というのは、肝硬変や糖尿病の患者 さんが、夏に刺身を食べ、食中毒になってしまい、 一日のうちに亡くなってしまう病気の事です。治療 が全く効果がなく、死亡率は 70%で、半数が発症三 目以内で死に至ってしまわれます。 Vibrio vulnificus という細菌は、川が海に注ぐ汽水領域に多く生息し ており、暖かくなると増えて魚介類からたくさん分 離される細菌なのです。そして、肝硬変の患者さん が生の魚介類を食べてしまうと、その細菌が体の中 で増えてしまって重篤な敗血症になって死亡してし まいます。症状は、生の魚介類の経口摂取後、48時 間以内に全身倦怠感、悪寒戦慄、高熱を伴って発症 します。

発症してから、下肢に激しい疼痛を伴い、発赤、腫脹(腫れる事)、紫斑(アオジンタン)、水疱、血疱、壊死を呈するので、皮膚科に相談される事が多いのです。

皮膚科が診断する時点では、かなり病態が進んでしまっています。ほとんどの症例が急速に敗血症、DIC(播種性血管内凝固症候群)という段階になり、多臓器不全に陥ってしまいます。残念ながら罹ってしまったらどうしようもないと思いますので、感染を防ぐ事がとても大事です。私が最初に診断した患者さんは、肝硬変の患者さんでした。夏に元気がつくように刺身を食べておられた事がわかっています。それが原因かわかりませんが、その頃は病院食に夏に刺身が出ていました。その日のお見舞いの差し入れも刺身でした。現在は、夏に刺身が出るなんてことはありません。

熊本のスーパーには、肝硬変と糖尿病の患者さんは、 夏に魚介類を食べない様にしましょうという張り紙 がしてあります。どうも、宮崎は危機感が足りない ような気がします。これから暖かくなってきますか ら上肝硬変や糖尿病の患者さんは、生の魚介類は食



病院での治療を終えた患者様のご自宅での生活をサポートするため、病院と連携を取りながら訪問看護を行っているのが、訪問看護ステーションです。当院は、連携施設として訪問看護ステーションなんぶを運営しています。看護師5名が当院を退院した方はもちろん他の病院から退院した方も訪問に伺っています。

医療的な処置は、褥瘡・吸引・吸入・口腔ケア・がん末期の緩和ケア・終末期看護・胃瘻管理・24時間高カロリー輸液管理・在宅酸素などです。また、ご家族を看取られた方々のグリーフケア(大切な人を無くした喪失感に対する心のケア)に伺う事もあります。

平成25年は3000件以上の訪問看護を行っています。 近年の特徴としては、独居の高齢者が非常に多く、 入院による筋力低下などから自宅での療養が困難と



#### 編集局から

五月にランチチェックを企画しました。自分のご飯の チェックも気になりますが、他の方のお昼ご飯も参考 になるかもしれません。ぜひご参加下さい。(石川)

病院代表番号:0985-54-5353

ホームページアドレス www.nanbuhp.or.jp

"南部病院"で検索して下さい。